

令和8年度 第1回 番組審議委員会 議事録

1 開催年月日 令和8年6月2日(火) 15:00～
会場 本社役員会議室

2 委員の出席

- ① 委員総数 7名
- ② 出席委員数 6名
- ③ 出席委員 種橋 潤治 (株式会社三十三銀行特別顧問)
小林慶太郎 (四日市大学 総合政策学部教授)
馬瀬 隆彦 (四日市市スポーツ協会 会長)
佐々木薫子 (四日市商工会議所女性部 副会長)
松井真理子 (特定非営利活動法人
市民社会研究所 代表理事)
出口 功 (特定非営利活動法人
菰野町スポーツ・文化振興会 事務局長)
- ④ 放送事業者側出席者氏名
藤生とも子 (地域情報部 部長)
諸岡 太 (地域情報部 次長兼エフエム局長)
秀 健司 (地域情報部 編成制作課兼エフエム 担当課長)
田中 勝利 (地域情報部 エフエム リーダー)

3 審議番組 番組名「【新番組】ぶるらじ」
(放送日時：2026年4月1日(水) 12:00～12:59)

4 報告事項

- ① 局の概要
- ② 2026年度放送番組について
- ③ 特別番組について
- ④ その他媒体について
- ⑤ 気象警報の変更について

5 審議内容

番組名「【新番組】ぶるらじ」 ※音源は事前視聴済み

<番組主旨>

こちらは、社会福祉法人四日市福祉会提供による番組で、今年4月から始まった番組です。この番組は、福祉の現場に関わっているスタッフの方々や、私達が住んでいるこの地域をより暮らしやすくするために活動している人、全ての人がバリアフリーで楽しめる、そんな毎日を送れるようにと活動している人をお迎えして、本音トークを繰り広げる番組です。

・番組審議について

委員：課題やスタッフの苦勞、地域の人たちでやっていることを
もっと聞きたかった。会長のお話が多かったように思う。

土地勘がないので、学区や学校名などがあるとわかりやすいと思った。

委員：番組出演関係者としては、楽しく聴いている。

初めなので地区の紹介が多かったが、今後は具体的な内容も出てくると思う。

委員：社会福祉、地域のかかわりの話が少なかったように思う。

途中で入ってくる方のお名前がわからなかった。

会話のやりとりで、誰と誰が話しているかが分かりづらかった

委員：会長たちが主体となって取り組んでいるのが目に浮かんで良かった。

音楽で気分転換できるタイミングがもう一回あると良かったと思う。

全体として1時間心地よく聴けた。

委員：番組タイトルの「ぶるらじ」の意味が知りたかった。

初回なので番組タイトルの「ぶるらじ」の説明があっても良かったと思う。

フリートーク過ぎてまとまり感がないように感じた。

1時間枠じゃなくてもいいのではと思った。

事務局：番組タイトルは、開花する、いきいきと輝く、栄えるといった意味の

英語「ブルーミング」と「ラジオ」から「ぶるらじ」と名付けた。

委員：今日はこの話、テーマをやりますというような、本題が何なのかを話す構成の工夫があっても良かったと思う。

委員：全体像が見えず、ローカルな話になっていたと思う。

山の名前が出て地名がわからない、地元じゃない方が聞いてもわかるような配慮や認識できる固有名詞があると良いと思った。

会長さんがかなり熱心、断片的な知識になっていた。

わがまち自慢だけど、わからない人にも配慮して進めてほしいと思う。

メリハリを付けて30分に集約するなど、1時間でなくても

良かったかもしれない。

会長さんの声は聴きやすかった。

事務局：委員皆さまの意見を参考に、より有益な番組づくりに心掛けたい。

弊社を介して、地域のにぎわい、ささやかな話題も、ローカルに伝えると

いう点にもこだわっていきたい部分。その点も含めて、寛容な視点で、

今後もお意見を賜ればと思う。

・その他について

委員：他局との交換番組はありますか

事務局：以前はありましたが、現在交換番組はありません。

委員：公開生放送の実施基準などは、ありますか。

事務局：明確な基準はありませんが、協賛を頂いているイベント等に出ています。

その他のイベントでも機会がありましたら、実施したいと思う。

6 記事の公示

CTY-FM ホームページにて 2026年6月12日 公示

以上